



白石高だより

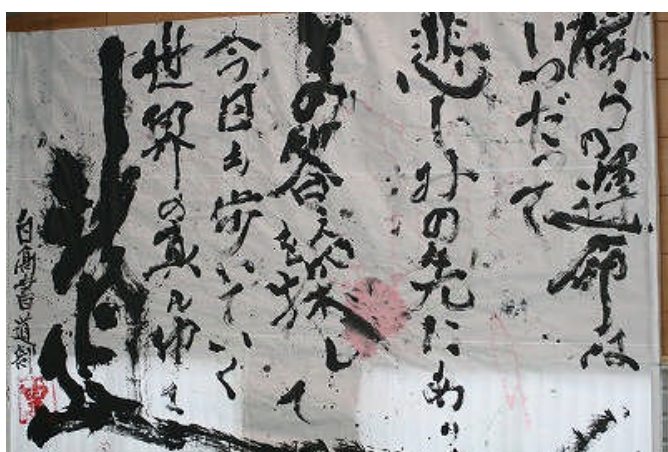
第 3 1 1 号

平成24年 3 月 23 日

白石高校ホームページ <http://www3.saga-ed.jp/school/edq10018>

◇第64回 卒業証書授与式【3月1日（木）】

春の訪れを告げる暖かい雨の降る中、第64回卒業証書授与式が厳かに挙行されました。PTA会長を始めとする来賓の方々、保護者、在校生に見送られながら159名が新しいステージへと旅立ちました。



◇校長先生退職記念講話【2月28日（火）】

この春退職される予定の東島敏隆校長先生による記念講話が行われました。先生ご自身の高校時代のお話から三十数年に亘る教職員生活や御専門であるバスケットボールのお話など多岐にわたりお話をいただきました。先生は本校勤務の2年間、全校生徒と個人面談をされたり、部活動にも何度も足を運んだりされ、激励を重ねていただきました。御退職後も白高生を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



◇学部学科説明会【2月22日（水）】

一年生の生徒全員を対象に、大学等の学部学科説明会が行われました。生徒たちは大学の様子や最新の研究内容を直接大学の先生方からうかがい、さらに大学や短期大学を身近に感じてくれたことと思います。参加校は右の通り。



内容	参加校
日本語学・日本文学系 英語学・英文学	西南女学院大学 西南女学院大学短期大学部
心理学系	西九州大学
経済学・経営学・商学系	福岡大学
国際文化・国際関係学系 観光学系	長崎国際大学
情報工学系 電気・電子工学系	福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部
建築・土木学系 機械工学系	西日本工業大学
体育学・スポーツ科学系	日本経済大学
幼児教育・保育学系 教育学系	梅光学院大学
薬学系・看護学系	純真学園大学

◇平成23年度高校入試合格発表【3月14日（水）】・合格者登校日【15日（木）】



平成23年度白石高等学校入学試験合格者160名が発表されました。当日は合格者の大きな歓声が上がり、自分の受験番号をバックに写真撮影をするなどして賑わっていました。

また翌日には合格者が登校し、国語、英語、数学の到達度テストや入学説明会、制服等の採寸などが行われました。

入学式は4月10日（火）で翌11日（水）には新入生と上級生の対面式があります。先輩となる在校生のみなさんは上級生としての自覚を持って、新入生を迎えてください。



◇4月の行事予定

- 2日（月）新クラス発表（10：30～）
- 6日（金）始業式・退任式
- 9日（月）新任式・入学式準備
- 10日（火）入学式
- 11日（水）対面式・部活動紹介
- 13日（金）身体測定・体力テスト
- 16日（木）1年生宿泊研修
（～18日）
- 27日（金）開校記念遠足

◇3学期クラスマッチ【3月19日（月）】

本校で8年ぶりに「校内駅伝・マラソン大会」が行われました。これは3学期のクラスマッチとして行われ「長距離走や駅伝の特性を生かし、体力向上と生徒相互の親睦を図る」目的で企画されました。当日は1、2年生各クラス2チーム、合わせて18チームが駅伝競走を競い、164名がマラソンに挑戦しました。コースは学校周辺で、出場生徒たちは春を満喫しながら体力づくりができたのではないのでしょうか。



校内駅伝・マラソン大会 結果一覧

駅伝の部（1年）

順位	クラス
1位	1-2 A

マラソンの部（1年男子）

順位	氏名	クラス
1位	コトノイ タケヤス 小鳥井 健泰	2

マラソンの部（1年女子）

順位	氏名	クラス
1位	マエダ アイリ 前田 愛梨	1

駅伝の部（2年）

順位	クラス
1位	2-1 A

マラソンの部（2年男子）

順位	氏名	クラス
1位	コイケ シュンヤ 小池 竣也	2

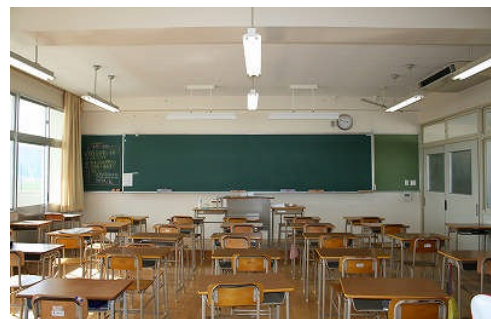
マラソンの部（2年女子）

順位	氏名	クラス
1位	カワサキ モネ 川崎 萌音	1

◇平成23年度進路実績

区分	人数
国公立大学	36
私立大学	105
短期大学	9
国公立看護専門	8
私立看護専門	24
その他の専門学校	22
公務員	0
就職	2

平成24年3月22日現在（数値は延べ数）



◇学年主任の先生方から1、2年生へのメッセージ

「夢の実現のために」

一年学年主任 三瀬貴大



私には夢や希望がたくさんある。教師としての夢、親としての夢・希望、また一人の人間としての夢。それらを実現するために、やる事がたくさんあるから、毎日が忙しいが、楽しくてしょうがない。君たちはどうだろうか？日々を生き活きと希望に満ちて、将来の夢に向かって過ごしているだろうか？何となく過ごしていないだろうか？

最近テレビで「夢は見るものではなく、実現するためにある。」とあるスポーツ選手が言っていた。私もそう思う。夢の実現のためには、しなければならない努力の量がある。その努力をしないともちろん実現しないし、努力を始めるのが遅れば遅れるほど、実現の可能性は低くなり、結局は諦めてしまう。そうならないためにも、みんなにはできるだけ早く夢を見つけ、その実現のための努力の量を把握し、計画的に努力してほしい。もし努力の量が分からないなら、今やるべきこと、今できることを、がむしゃらに精一杯やってほしい。そのうち努力の量が分かったときに諦めなくていいように。ただ何となくテレビを見たり、ゲームをしたり、友人とメールをしたりなど、夢の実現とは全く無関係の無駄な時間がないか、今の生活をもう一度確認してみてください。

また話は変わるが、東日本大震災から1年が過ぎた。今でも新聞記事やテレビで流れるニュースに涙が出てしまう。すぐに「自分だったら」と想像し、被災者の心の苦しみは如何ばかりかと思うと耐えられなくなる。今の私に被災者、被災地のために何ができるだろうかと常に思っている。ぜひみんなにも「自分だったら」と思い、自分にできることを考えてみてほしい。

「サガン鳥栖を応援しながら世界を語る私は一体何者か」

二年学年主任 太田信也



3月10日の暖かな昼下がり、私はテレビの前で時折「惜しい〜」とか「うお〜」とか叫びながら、サガン鳥栖のJ1デビュー戦を観戦していました。面白い試合だったと思いますが、純粋にサッカーを楽しむならヨーロッパのリーグ戦などもっとレベルが高く華麗なテクニックが飛び出すものをいくらでも見る事ができる時代です。しかし、私が熱を入れて見るのは、専ら代表戦や今回のような地元チームのものだけです。そこには、自分とのつながりを感じるかどうかで思い入れに強弱がつく行動様式がみられます。これは皆さんの日常生活でも経験のあること、よくみられることではないでしょうか。

そして3月11日、震災から1年を迎えました。当時は多くの人が日本人の一人として東北の人々に思いをはせ、当たり前と思っていた生活や家族の有り難さを再認識したのではないかと思います。そして今、どうですか？この1年何ができましたか？あなたの方で何かが変わりましたか？変わらず持ち続けている思いがありますか？これは自分自身に投げかけた問いです。

私たちは、自分に関係のあるもの（こと・人）には思いをめぐらすことができます。また、自分が同じ経験をしていけば自然と相手に思いやりを持てるものです。しかし、それだけでよいのでしょうか？より良い世の中、より良い世界、より良い人生にするには、一人一人が、より広く、深く、長く思いを至らせるべきではないのでしょうか。しかも私たちは、普段意識しないところでも実に多くのつながり、支えの中で生きているはず。2年生のスローガンは「**自分もまわりも大切に**」でした。どれだけ実践できましたか？まずは身の回りから見つめ直してみましょう。そして4月からはよいよ3年生です。1年後の自分にも思いを至らせてみましょう。最も強く思い入れやすいのは、離れたくても離れられない自分自身のはずです。でも、どれほど自分のこと考えてますか？まわりを大切にできる人であるためにも、まずは自分自身を大切にしましょう。

1年後、さらに成長した皆さんの姿を期待しています。